4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Kの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか	防災の日 （ぼうさいの日 でも正解）
(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか	台風 （たいふう でも正解）
(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか	噴火 （ふんか でも正解）
(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか	液状化 （液状化現象・えきじょうか でも正解）
(5) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか	土石流 （どせきりゅう でも正解）
(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか	堤防 （ていぼう・土手 でも正解）
(7) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか	避難場所 （ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）
(8) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか	耐震 （耐震工事・耐震化 でも正解）
(9) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか	遊水地 （遊水池・ゆうすいち でも正解）
(10) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか	避難指示 （ひなん指示 でも正解）
(11) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか	備蓄 （びちく でも正解）
(12) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか	防災無線 （防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）
(13) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか	特別警報 （とくべつ警報 でも正解）
(14) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか	自衛隊 （じえいたい でも正解）
(15) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか	ライフライン
(16) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか	給水車 （きゅうすいしゃ でも正解）
(17) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか	気象庁 （きしょうちょう でも正解）
(18) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか	自助 （じじょ でも正解）
(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか	共助 （きょうじょ・互助 でも正解）
(20) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか	非常持ち出し袋 （非常持出袋・防災バッグ でも正解）